

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2007-271171(P2007-271171A)

【公開日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-040

【出願番号】特願2006-97901(P2006-97901)

【国際特許分類】

F 24 F 13/20 (2006.01)

F 24 F 13/28 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 4 0 1 D

F 24 F 1/00 3 7 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月29日(2009.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は3本以上の直線で囲まれた形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項2】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は曲線と直線で囲まれた形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項3】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は2つの定点からの距離の和が一定な点の軌跡で囲まれた橜円形状の断面を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項4】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は1つ以上の角部と1つ以上の曲線で囲まれた形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項5】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は少なくとも4つ以上の接点、及び4つ以上の円弧で囲まれた形状を有することを特徴

とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 6】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が3本以上の芯線により捩られた除塵体を有し、前記3本以上の芯線の断面は円形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 7】

請求項1～6のうち、何れかに記載の清掃装置を有する空気調和機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第1の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は、3本以上の直線で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

第2の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は、曲線と直線で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

第3の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は、2つの定点からの距離の和が一定な点の軌跡で囲まれた橿円形状の断面を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第4の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は、1つ以上の角部と1つ以上の曲線で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

第5の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により捩られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも1本以上の断面は、少なくとも4つ以上の接点、及び4つ以上の円弧で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

第6の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が3本以上の芯線により捩られた除塵体を有し、前記3本以上の芯線の断面は円形状を有するため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。